

三遠南信サミット 2014 in 遠州 サミット宣言

San-En-Nanshin SUMMIT

第 22 回三遠南信サミット in 遠州では、「～変わりゆく社会環境のなかで～三遠南信の特色を活かした地域発展を目指して — 三遠南信地域連携ビジョンの実現のために —」をテーマとし、各分科会において、現在の状況確認の上、今後の課題解決のための取り組みについて議論をしました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、今年度、連携体制・事業推進体制の強化を図ったところですが、本日のサミットでの議論を踏まえ、次の事項に重点を置き、県境広域連携の一層の発展を目指して、更なる事業の推進に取り組みます。

- 1 三遠南信自動車道は、地域連携の機軸であり、地域間交流の形成に重要な役割を果たす不可欠なものです。また、大規模災害時には、救援活動、物資の輸送だけでなく避難路として利用されるなど「命をつなぐ道」として重要な社会基盤であることが確認されています。

今後においても、更なる圏域の一体的な振興・発展のため、三遠南信自動車道の早期全線開通を始め、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現、リニア中央新幹線の着実な整備推進を目指し、三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心とし、地域一丸となった提言活動を進めます。

- 2 本地域の強みである自動車産業など多様なものづくり産業の集積を維持・強化するとともに、成長が見込まれる航空宇宙産業や健康医療産業など将来を担う新たな産業を、三遠南信地域の産学官金の機関が共創により戦略的に育ててまいります。

また、三遠南信地域内の大学と産官との連携による人財育成については、産学官人財育成円卓会議において確認されたアクションプランを実施してまいります。

- 3 「塩の道エコミュージアム」の形成に向け、自然、歴史、文化、産物など地域資源を活かす事業に取り組む民間団体との連携を強めるとともに、三遠南信の魅力の情報発信力を高め、三遠南信地域における持続的な観光客誘致を進め、また、観光資源や伝統工芸品などの特色ある地域資源を活用し、地域経済の活性化に繋げてまいります。

- 4 中山間地域を活かす流域モデルの形成に向け、都市部と中山間地域間での人・ものの参加・交流・連携事業の推進を図るとともに、情報発信体制の整備・強化を進めます。

また、地震や台風などによる、広域的または局地的な災害に対応するため、県境を越える防災の連携体制の強化に取り組み、安全・安心な地域の形成を推進します。

- 5 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、本年度の事業部会の設置により、構成員が一丸となり、事業の一層の進捗を図ってまいります。さらに、三遠南信地域の広域観光振興、産業振興、防災、環境保全などについて、平成 28 年度を目途とした広域連合などによる連携体制の整備を目指し、引き続き各自治体間での協議を促進します。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第 22 回三遠南信サミット 2014 in 遠州のサミット宣言といたします。

平成 26 年 10 月 27 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
三遠南信サミット 2014 in 遠州